

学校給食と食物アレルギー

I 研究の趣旨

近年、子どもたちを取り巻く環境変化や疾病構造の変化に伴い、アレルギー疾患の児童生徒の増加が指摘されている。

こうしたことから、県内の学校給食における食物アレルギー対応の現状を踏まえながら医学的知見に基づく食物アレルギーの正しい理解、学校での児童生徒のアレルギー情報の管理、対応食の実施、緊急時の対応等について、専門的知識や技術、先進事例等の調査研究を実施し、その成果を学校現場に提供することにより、学校給食における食物アレルギー事故の防止に役立たせることを目的として調査研究を行う。

II 研究の内容

- (1) 食物アレルギーの基本的事項について分析する。
- (2) 学校における食物アレルギーの管理方法等について分析・研究する。
- (3) 食物アレルギー対応給食のための実施方法等について分析・研究する。
- (4) 緊急時における対応状況について分析する。

III 研究の方法

- (1) 研究期間 平成25年度～26年度
- (2) 研究方法
 - 調査研究は、班毎に研究内容を分担し、各班で研究した内容を全体会で協議する。
 - 調査研究は、必要に応じ、実態調査、先進地視察調査、専門的知見の聴取等を行う。
 - 専門的知見を聴取するための講演会等については、委員以外の学校給食関係者の参加を認めるものとする。
 - 「調査研究報告書」は、県内の小中学校等関係機関及び全国の学校給食会に配布する。

IV 研究の全体構想

